

11 エアゾール缶等

【関連章第4章3】

事例1 「ガスファンヒータ付近に置いていたスプレー缶が破裂し、漏れたガスに引火した火災」

出火時分 2月 7時ごろ

用途等 共同住宅 耐火造 5/0 延 700 m²

防火管理 非該当

x 被害状況 建物部分焼 1棟 26 m²焼損 傷者 1人

概要

この火災は、共同住宅の2階居室から出火したものです。

出火原因は、使用中のガスファンヒータの目の前に置かれていたスプレー缶が破裂したことで、可燃性ガス（LPG）が噴出し、ガスファンヒータの炎により引火したことで出火したものです。

居住者は、ガスファンヒータのスイッチをつけたまま就寝しており、朝7時頃に「ボンッ」という音で目が覚めると、少し離れたところにあるガスファンヒータ周囲から50 cmの炎が立ち上がっているのを発見しています。居住者は台所で鍋に水道水を汲んで、2回かけましたが消火できませんでした。

なお、この火災は消防隊が自動火災報知設備のベル鳴動音に気づき、本建物の出火室を特定したため通報行為はありませんでした。

教訓等

この火災は、ガスファンヒータ使用の際、スプレー缶を周囲に置いていたため発生したものです。スプレー缶は噴射剤として可燃性ガスを高圧で封入しているため、炎や熱の影響を受けやすい環境に晒されると、内圧が高まって缶が破裂し、さらに可燃性ガスに引火して大きな損害を受ける恐れがあります。

取り扱いの際は、スプレー缶に記載されている注意書きをよく読み、細心の注意を払うことが大切です。



写真 11-1 出火箇所の状況



写真 11-2 居室の焼損状況



写真 11-3 スプレー缶の状況